

行政のデジタル化の推進 ～業務担当部局の業務改革（DX）～

最近のDXの動向や必要性等を再認識するとともに、実際にDXを進めてきた他団体の先進事例等に関する講義、演習等を通じて、業務担当部局等が主体的にDXを進めるうえで必要な総合的知識の習得を目指します。

日 程	令和9年1月18日(月) ～ 1月22日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上 業務担当部局で取り組む業務改革（DX）の進め方に関心のある職員を対象		
定 員	50人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年11月4日(水)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部		
	TEL	043-276-3126	
	URL	https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php	

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

1月18日/月

13:15 - 14:45 入所

15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 -
課題演習（討議）

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

1月19日/火

9:00 - 10:10
国の動向から考える自治体DXの
現在地とこれから（講義）

総務省地域DX推進室

総務省が推進する自治体DXの最新動向を把握し、フロントヤード改革、生成AI活用、情報システム標準化など、先進事例や国の支援施策を交えながら、持続可能な行政運営に向けた取組の重要性について学びます。

10:25 - 15:35
成果につながる自治体DXの進め
方～業務改革とデジタル活用の実
践のポイント～（講義）(株)あすまちラボ代表取締役社長/総務省
地域情報化アドバイザー

多田 功 氏

DXの全体像の理解に加え、BPRやEBPM、RPA、ノーコードツール等の役割や相互の違いを紐解きながら、確かな成果につながる業務改革とデジタル活用の実践的なポイントについて学びます。

15:50 - 17:45
課題演習

1月20日/水

9:00 - 12:00
ゴールから考えるDXの進め
方～成果につなげる思考と行
動～（講義・演習）横浜市デジタル統括本部デジタル・デザイ
ン室担当係長

竹森 庸陽 氏

自治体の現場で業務改革DXを進めていくための思考と行動について、事例や演習を踏まえながら学びます。

13:00 - 14:10
勘に頼らない施策立案（EBPM）
とデータ活用の視点（講義）東京電機大学システムデザイン工学部情報
システム工学科教授

松井 加奈絵 氏

データ利活用やEBPMの基本的な考え方を理解し、客観的な根拠に基づいて業務課題を把握し、施策立案や業務改革へとつなげるための実践的な視点について学びます。

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagagin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

14:25 - 15:35

生成AI時代の業務改革～「自分ごと」として描く活用アプローチ～ (講義・演習)

アンドドット株式会社/生成AIスペシャリスト

黒瀬 孝博 氏

生成AIの特性や実践的な活用方法を理解し、業務改革や住民サービス向上へどう結びつけるかを「自分ごと」として具体的に描き出すためのアプローチについて学びます。

15:50 - 17:45

課題演習

9:00 - 12:00

業務改革を実現するマインドとBPR (講義・演習)

岐阜県下呂市最高デジタル責任者(CDO)補佐官

長尾 飛鳥 氏

宮崎県都城市総合政策部デジタル統括課副課長

佐藤 泰格 氏

自治体DXに不可欠なマインドセットとBPRの手法を深く理解し、組織の壁を越えて業務改革を主体的に推進するための具体的な考え方と実践手法について学びます。

13:00 - 15:35

タイムマネジメント～デジタルで生み出す時間の価値～ (講義)

(一社)日本デジタルトランスフォーメーション推進協会代表理事

森戸 裕一 氏

これからのDX推進に向けた新たな時間創出のための実践的なアプローチと、デジタル活用によって創出した時間を組織の価値向上や未来への挑戦にどのように使うのかについて学びます。

15:50 - 17:45

課題演習

9:00 - 12:00

課題演習 (発表・講評)

(株)あすまちラボ代表取締役社長/総務省地域情報化アドバイザー

多田 功 氏

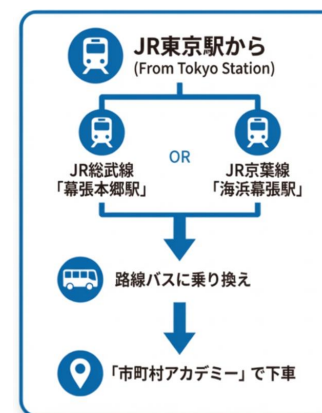
事前に提出した課題について、班ごとに討議した結果を発表し、講師による講評等を受けます。

12:10 -

修了式

Memo

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



児童虐待対策

児童虐待の未然防止、早期の発見及び対応において市町村に求められる役割、児童を虐待から保護する法制度、関係機関との連携等に関する講義、演習等により、児童虐待対策についての専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

日 程	令和9年1月18日(月) ～ 1月22日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	60人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年11月4日(水)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php		

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

1月18日／月

1月19日／火

1月20日／水

13:15 - 14:45 入所 15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 - 課題演習（討議）

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、課題解決の施策等について、演習班で討議を行います。

9:00 - 12:00
子ども家庭支援と虐待防止～市町村に求められる役割～（講義）
日本児童相談業務評価機関代表理事
安部 計彦 氏

虐待の定義、実態、虐待を引き起こすリスク要因等を理解し、改正法により明確化された児童福祉法の理念、市町村の役割・責務、その具体的業務内容等について学びます。

13:00 - 15:35
関係機関とのネットワーク～医療機関の現場から～（講義・演習）
あきやま子どもクリニック院長
秋山 千枝子 氏

医療機関で遭遇する児童虐待の実例をもとに、市町村と医療機関とが連携した、早期対応の必要性和その課題などについて学びます。

15:50 - 17:45
課題演習（討議）

9:00 - 12:00
児童虐待から保護する法的仕組みと裁判の動向（講義）
くれたけ法律事務所弁護士
磯谷 文明 氏

虐待から児童を保護する法的仕組みや児童虐待に関係する事件処理の実情について学びます。

13:00 - 15:35
子どもの命を守るための児童虐待対応～ネットワークを駆使して～（講義）
日本大学大学院危機管理学研究科教授/元文京区子ども家庭支援センター所長・男女協働課長/法務博士（専門職）/保育士
鈴木 秀洋 氏

児童相談所、こども家庭センター、教育、保健・医療、福祉分野、地域・民間など様々な分野との連携について学びます。

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。
<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagain/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

15:50 - 17:00

課題解決フォーラム（意見交換）

日本大学大学院危機管理学研究科教授/元
文京区子ども家庭支援センター所長・男女
協働課長/法務博士（専門職）/保育士

鈴木 秀洋 氏

各自治体の課題や取り組みの事例について、
受講生同士での意見交換を行うことで、参
考事例を見つけ、また、人脈形成を図るこ
とを目的とします。

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

9:00 - 15:35

虐待の問題を抱える家族の支 援について考える～アセスメ ントを支援につなげる～（講 義・演習）

そだちと臨床研究会 代表（臨床心理士）/元滋賀
県彦根子ども家庭相談センター 所長

菅野 道英 氏

児童虐待の課題を抱える家族について、模
擬事例を用いて、家族のストレングス（強
み）とリスクのバランスをとる『在宅支援
共通アセスメント・プランニングシート』
を活用し、グループディスカッションをし
ながら、支援策を検討する方法を身につけ
ます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

日本児童相談業務評価機関代表理事

安部 計彦 氏

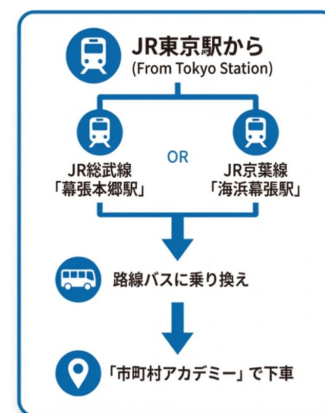
各班の討議結果を発表し、質疑応答や意見
交換を行います。その後、講師から講評等
をいただきます。

12:10 -

修了式

Memo

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、
「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



公共交通とまちづくり

公共交通に係る法制度やモビリティマネジメント、高齢者等の移動手段の確保、新たなモビリティサービスの動向等に関する講義、演習等により、人口減少・少子高齢化時代の地域における円滑な移動の確保等、公共交通とまちづくりについて学びます。

日 程	令和9年1月18日(月) ～ 1月22日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	40人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年11月4日(水)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部		
	TEL	043-276-3126	
	URL	https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php	

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

1月18日／月

13:15 - 14:45 入所 15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 -
課題演習（討議）

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

1月19日／火

9:00 - 12:00
公共交通とまちづくりの基本
（講義）
（一社）グローバル交流推進機構理事長
土井 勉 氏

公共交通とまちづくりはなぜ必要なのか、その基本的な考え方や意義を学びます。人口減少・少子高齢化が進む中で、地域の暮らしやまちの持続可能性を支える公共交通のあり方について、基本的な知識や視点を身につけます。

13:00 - 15:35
公共交通とまちづくりの政策
形成～海外の先進事例から考
える～（講義・演習）
京都府立大学社会科学部教授
川勝 健志 氏

公共交通をめぐる課題について、行政の役割や政策形成のあり方を考えます。さらに、海外の先進事例やその視点を通じて、地域の実情に応じた持続可能な公共交通とまちづくりのあり方を学びます。

15:50 - 17:00
課題演習（討議）
京都府立大学社会科学部教授
川勝 健志 氏

17:00 - 17:45
課題演習（討議）

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

1月20日／水

9:00 - 10:35

国の交通政策の動向と補助金制度の戦略的活用（講義）

名古屋大学大学院環境学研究科教授

加藤 博和 氏

10:50 - 14:10

新たなモビリティサービスを知る～適材適所に向けて～（講義）

（一財）計量計画研究所常務理事/CoIU（コーイノベーション大学）教授

牧村 和彦 氏

14:25 - 15:35

バス事業者から見た地域交通の現状と課題（講義）

網走バス（株）専務取締役

明神 健太 氏

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

9:00 - 12:00

住民行動を変えるモビリティ・マネジメント（講義・演習）

愛媛大学社会共創学部教授

松村 暢彦 氏

13:00 - 15:35

本音で語る地域交通施策の舞台裏（事例紹介・パネルディスカッション）

パネラー

福島県会津若松市・香川県坂出市

コーディネーター：愛媛大学社会共創学部教授

松村 暢彦 氏

国の交通政策の動向や地域公共交通に関する制度を学び、自治体が活用できる補助金制度について理解します。地域の課題や施策に応じて、各種制度・補助金をどのように組み合わせ、効果的に活用するかを考えます。

基幹的交通（BRT他）、オンデマンド型交通サービス、ライドシェア等のモビリティサービスの特徴を学ぶとともに、官民が協調したデジタル戦略（MaaS他）やリアル（モビリティハブ、結節点）の取り組みの作法を学びます。地域の交通課題や特性に応じた適材適所の要諦を、講師と一緒に考えます。

運転手不足や乗客減少といった課題を抱える地域バス事業者から、地域の実態やニーズに合わせて行う様々な取り組みや地域との関わり方などについてお話いただきます。地域バス事業全体の現状・課題等について学ぶとともに、課題解決の糸口を探ります。

自動車に依存した移動から、公共交通などを活用した移動への転換を促すモビリティ・マネジメントについて学びます。住民の意識や行動を変えるための考え方や手法を知り、地域の移動をより良くするための取り組みについて考えます。

地域交通施策の実際の事例を通じて、施策の実現に至るまでの経緯や現場で直面する課題、工夫について学びます。また、パネルディスカッションを通じて、地域交通を取り巻くさまざまな立場の本音に触れ、施策を進める上でのポイントを学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

京都府立大学社会科学部教授

川勝 健志 氏

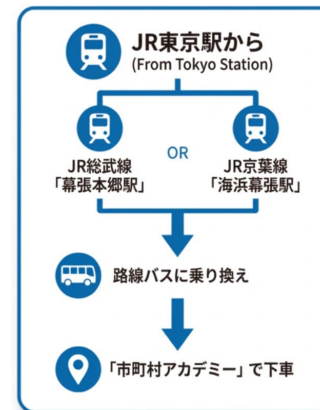
演習班ごとに討議した成果を全員の前で発表し、質疑応答や意見交換を行います。その後、講師から講評をいただきます。

12:10 -

修了式

1月22日／金

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



1月21日／木

市町村税徴収事務③

<地方公共団体金融機構と共催>

地方税法や国税徴収法等の法令理解、財産調査・差押え・納税者折衝等の実務に関する講義、演習等により、市町村税徴収事務に必要な専門的知識とスキルの習得を目指します。

日 程	令和9年1月25日(月) ～ 2月4日(木)		
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上 市町村税徴収事務について1年以上の実務経験を有する職員を対象		
定 員	100人		
受講費	47,300円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年11月4日(水)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php		

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

1月25日／月

13:15 - 14:45 入所 15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 -
納税者折衝（事前討議）

演習班に分かれ、納税者折衝事例等の討議を行います。

1月26日／火

9:00 - 12:00
地方税法総則（講義）
公益財団法人東京税務協会専門講師
斎藤 博史 氏

納税義務の成立と確定、徴収権の消滅時効、書類の送達・公示送達について学びます。

13:00 - 17:00
交渉力の向上を目指して（講義・演習）
(株)ツタワル木代表取締役
工藤 邦彦 氏

自主納付を増やし、差押えや搜索の件数を減少させるため、滞納整理における交渉の心構え、聞く技術（傾聴）と伝える技術（アサーティブコミュニケーション）を学びます。

17:00 - 17:45
納税者折衝（事前討議）

演習班に分かれ、納税者折衝事例等の討議を行います。

1月27日／水

9:00 - 10:35
徴収事務のマネジメント（講義）
税理士、神奈川県川崎市財政局収納対策部
収納対策課滞納整理指導嘱託員
中山 裕嗣 氏

徴税事務の対象者は様々であり、それぞれに対して、効果的・効率的に徴収業務を進めていくためには、目標を立て、組織をマネジメントしていく中堅職員の役割が重要です。研修生がその役割を果たせるようになるための知識を学びます。

10:50 - 17:00
国税徴収法の実務（講義）
税理士、神奈川県川崎市財政局収納対策部
収納対策課滞納整理指導嘱託員
中山 裕嗣 氏

地方税の滞納処分に関する基本法である国税徴収法について学びます。

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

1月28日／木

9:00 - 15:35

財産調査の進め方、差押手続のポイント（講義）

神奈川県相模原市財政局税務部債権対策課
総括副主幹

宮崎 大 氏

差押財産の特定のための有効な調査方法、差押えの要件・効力・手続、捜索の方法等について、事例をもとに学び、より実践的な知識・スキルを身につけることを目指します。

15:50 - 17:45

納税者折衝（事前討議）

演習班に分かれ、納税者折衝事例等の討議を行います。

1月29日／金

9:00 - 12:00

行政対象暴力への対応（講義・演習）

千葉県総務部総務課行政対象暴力対策室

行政に対する違法又は不当な行為への対応方法について習得することにより、徴税吏員を組織として守るとともに、遺憾なく職責を発揮できる体制づくりを図ります。

13:00 - 16:00

納税者折衝のポイント（講義・演習）

公益財団法人東京税務協会専門講師

川口 克彦 氏

公益財団法人東京税務協会専門講師

吉原 敏夫 氏

納税交渉の仕方について、事例をもとにトラブル対応における留意点についての講義と、研修生によるロールプレイングを交えながら学びます。

16:15 - 17:45

課題演習（討議）

演習班に分かれて、課題についてグループ討議を行います。

2月1日／木

9:00 - 15:35

分納、滞納処分猶予・停止、延滞金の取扱いについて（講義）

名古屋市財政局税務部収納対策課課長補佐

富田 将大 氏

徴収事務の基本的な業務である分納、滞納処分の猶予・停止、延滞金の取扱い等につき、その趣旨・目的や相互関係等を掘り下げて検討し、かつ、具体的ケースを交えながら実務に即して学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

演習班に分かれて、課題についてグループ討議を行います。

2月2日／火

9:00 - 17:00

民事・家事裁判手続、相続承継に関連する滞納整理（講義）

弁護士、自治体支援弁護士プロジェクト
チーム代表

瀧 康暢 氏

秋田県由利本荘市健康福祉部福祉支援課
（元同市収納課）主査

宇佐美 慶教 氏

給料差押えに応じない事業主、相続による滞納税の承継、相続預金・不動産の差押え（相続財産清算人申立含む）、代表者死亡・倒産・廃業法人の滞納処分等、徴収困難事例における法的対応について具体的な方法を学びます。

講義の中で、秋田県由利本荘市での事例を紹介します。

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

演習班に分かれて、課題についてグループ討議を行います。

2月3日／水

9:00 - 12:00

生活再建型滞納整理（レクチャー&フォーラム）

徳島県企画総務部県税局徳島支所課長補佐

山口 明大 氏

滞納の背景にある個々の状況を把握し、その根本原因が解消されるよう働きかけることは、持続可能な徴収につながります。本講義では、徳島県美馬市の実践事例を紹介しします。

13:00 - 17:45

課題演習（討議）

演習班に分かれて、課題についてグループ討議を行います。

2月4日／木

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

公益財団法人東京税務協会専門講師

川口 克彦 氏

公益財団法人東京税務協会専門講師

青柳 進 氏

各研修生が持ち寄った課題について討議した内容を発表し、研修生同士で質疑を行い、講師から講評をいただきます。

12:10 -

修了式

D X時代の農業戦略 ～データ農業と地域ブランド～

データを活用した新しい農業の時代が到来する中で、それを担う若い就農者等の支援や、D Xを活用した新たな地域ブランド戦略等に関する講義、演習等により、農業を通じた地域産業の振興に必要な知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

日 程	令和9年1月25日(月) ～ 1月29日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	40人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年11月4日(水)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部		
	TEL	043-276-3126	
	URL	https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php	

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

1月25日／月

13:15 - 14:45 入所 15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 -
課題演習（討議）

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

1月26日／火

9:00 - 12:00
スマート農業の最前線と今後の展望（講義）
株式会社マイファーム専務取締役
浪越 隆雅 氏

日本の農業の現状を把握した上で、行政としてスマート農業をどう活用するか、また地域農業をどのように推進するかを考える。スマート農業および地域農業に関する総論について学びます。

13:00 - 14:10
スマート農業の推進のための国の施策（講義）
農林水産省大臣官房政策課技術政策室
技術企画専門官
工藤 なつみ 氏

生産者への普及や技術開発への支援、スマート農業教育やデータ連携基盤等の環境整備などを含む国の施策の動向について学びます。

14:25 - 15:35
データで人と人がつながり、地域の農業が盛り上がる！＜所得向上～後継者育成～地域産業の育成へ＞（講義）
高知大学IoT共創センター
副センター長／特任教授
岡林 俊宏 氏

農業先進国オランダから学び、「経験と勘に頼る農業」から「データ駆動型農業」に転換していくことで、「もっと楽しく・もっと楽に・もっと儲かる農業」を実現してきた高知県の産学官連携の取組みを学び、「地域産業」×「デジタル・AI」によって新たな付加価値を生み出していくためには、地方自治体が今、何をすべきなのかを考えていきます。

15:50 - 17:45
課題演習（討議）

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

1月27日／水

9:00 - 12:00

当研修所でバスを用意し、千葉市農政センターへ実地研修に行きます。

9:45 - 11:15

【実地研修】現場で学ぶDX時代の千葉市の農業（視察・講義）

千葉市農政センター

千葉市農政センターは、2022年、スマート農業の実証フィールド化、栽培試験・研修の強化、農業技師の指導力強化の3つを柱とするリニューアルプランを策定し、千葉市農業の成長産業化を支援する現場の拠点となっています。

13:00 - 14:10

ふるさと納税を活用したスマート農業集積戦略～農業版シリコンバレー「DEEP VALLEY」の挑戦～（講義）

埼玉県深谷市産業振興部産業ブランド推進室 室長補佐兼企業誘致推進係長

小暮 正樹 氏

ふるさと納税を活用したビジネスコンテストによる企業誘致と、誘致企業に対して農地を「実証実験のフィールド」として提供するための農家マッチングなど、自治体主導の農業イノベーション戦略について学びます。

14:25 - 15:35

視察が絶えない有機給食～有機を通じた地域所得、地域魅力の向上～（講義）

千葉県いすみ市農林課有機農業推進班班長

鮫田 晋 氏

高齢化や担い手不足に見舞われ、先行きの見えない状況が続く中、千葉県有数の米の産地いすみ市は2013年から有機米栽培に活路を見出しました。農家の希望で始めた学校での有機米給食は、全国で評判となり、地域所得の向上に寄与しています。自治体主導により有機農業を推進し、生産性・収益性を向上や地域ブランド化への取り組みについて学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

1月28日／木

9:00 - 10:35

「農業×ICT」を通じた地域経済の活性化や街づくりをめざして～官民コラボの農業戦略～（講義）

株式会社NTTアグリテクノロジー代表取締役社長

酒井 大雅 氏

地域でスマート農業に取り組むには、行政の力だけではなく、民間企業との連携が不可欠です。「農業×ICT」を通じて全国各地で地域経済の活性化に取り組むNTTアグリテクノロジーから、ICTを活用しての生産性、収益性向上の具体例や行政と連携しての取り組みやその成果などについて講義いただきます。

10:50 - 12:00

人口減少・担い手不足に向き合うスマート農業と地域農業の未来（講義）

株式会社白銀カルチャー代表取締役

荒木 康男 氏

農業現場における人手不足、担い手不足、農家減少の実態を理解したうえで、スマート農業に求められる役割や限界を捉え、デジタル技術を活用した持続可能な地域農業と地域づくりのあり方について学びます。

13:00 - 15:35

A I時代の地域ブランド戦略（講義・演習）

一般社団法人地方PR機構代表理事

殿村 美樹 氏

地域の農産品、地域の人は気づかないけれど、外から見れば魅力の塊です。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

1月29日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

株式会社マイファーム専務取締役

浪越 隆雅 氏

班別討議の内容を各班ごとに発表し、その内容について講師から講評をいただきます。

12:10 -

修了式

文化芸術の活用による地域社会の活力の創造

文化芸術活動のまちづくりにおける意義、文化施設の活用方策、人材活用等に関する講義、演習等により、文化芸術を活用しながら地域社会の活力の創造を図ることについて学びます。

日 程	令和9年1月25日(月) ～ 1月29日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	40人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年11月4日(水)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部		
	TEL	043-276-3126	
	URL	https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php	

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

1月25日／月

13:15 - 14:45 入所 15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 -
課題演習（討議）

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

1月26日／火

9:00 - 12:00
変化の時代における文化芸術の役割と地域の活力創出（講義）
合同会社文化コモンズ研究所代表
吉本 光宏 氏

時代の変化を的確に捉え、教育・福祉・地方創生など様々な分野において、文化芸術を活用することで、新たな価値や効果を創出し、地域の活力創造を生み出す可能性について、国内外の多くの事例を交えながら学びます。

13:00 - 15:35
文化芸術で地域課題に向き合うプロジェクトデザインと文化施設運営（講義）
岩手県文化芸術コーディネーター・宮古市民文化会館プロデューサー
坂田 雄平 氏

文化芸術と教育・福祉・観光・産業・まちづくりなど、多分野とつなげる実践に携わる講師から、市民や地域との関係を育てる事業やコミュニケーション、広報のあり方、多くの自治体が課題を抱える文化施設運営のあり方などについて、各地の実践事例も交えながら学びます。

15:50 - 17:00
実例から学ぶ文化芸術を活用した地域づくり（事例紹介）
香川県高松市創造都市推進局 文化・観光・スポーツ部 文化芸術振興課長
平井 省三 氏

「瀬戸内国際芸術祭」の玄関都市としても名高く、現代アートや伝統工芸を活かした「創造都市」の推進に注力する高松市。国内外の来訪者を迎えるアート拠点の状況や、高松市が推進している音楽を生かしたまちづくりについて紹介いただきます。

17:00 - 17:45
課題演習（討議）

事前に提出した課題について、班ごとに討議した結果を発表し、講師による講評等を受けます。

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

1月27日／水

9:00 - 12:00

文化が拓く地域の未来～新しい視点と自治体の役割～（講義）

（一社）人文知応援フォーラム プログラムコーディネーター

小島 多恵子 氏

13:00 - 14:10

小さな町の、世界で一番大きな美術館（講義）

NPO法人砂浜美術館理事長

村上 健太郎 氏

14:25 - 15:35

地域おこし協力隊・地域活性化起業人を活用しての「まちじゅう音楽プロジェクト」（事例紹介）

北海道奈井江町生活活躍のまち20推進室主幹

井内 啓太 氏

（一社）ないえ共奏ネットワーク共奏マーケティンググループ・前地域おこし協力隊

東 留美香 氏

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

9:00 - 14:10

文化芸術の意義と活用（講義）

劇作家・演出家

平田 オリザ 氏

14:25 - 17:45

課題演習（討議）

地域に根差した、財政力や自治体規模に依存しない独自の地域文化活動や、地元住民と行政が協働で行う地域文化の取組事例を通じ、地域への誇りと愛着、関係人口、経済効果等を創出するための新たな視点と自治体の役割・関わり方等について学びます。

建物を建てず、自然と文化芸術の力で国内外からの集客を持続する砂浜美術館。4キロの砂浜や人々の営みを「作品」とみなす独自のコンセプトが、訪れる人の想像力を刺激し、高い集客力を生み出しています。あるものを生かした地域づくりについて学びます。

人口約4,500人の奈井江町。総務省の地域おこし協力隊や地域活性化起業人などの制度を活用し、「生涯活躍のまち」構想のもとで人と街を“音楽”でつなぐ地域づくりを進めています。文化芸術でまちの魅力を高め、まちの賑わい創出や関係人口の増加をはじめ、地域経済の循環や担い手不足解消に向けた取り組みからヒントを学びます。

「文化・芸術はなぜ必要なのか。」文化・芸術が社会で果たす役割について、これまでの日本の文化政策を振り返り、諸外国の事例とも比較しながら考察します。また、人口減少社会における文化・芸術の新たな役割や、地域振興に活用する意義等について、具体的な視点から学びます。

数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。

1月29日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

合同会社文化コモンズ研究所代表

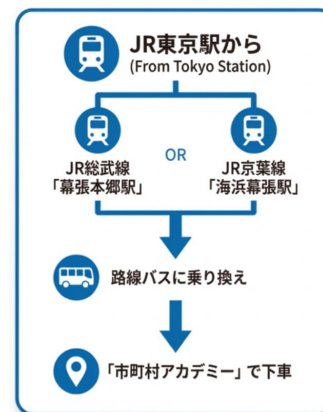
吉本 光宏 氏

事前に提出した課題について、班ごとに討議した結果を発表し、講師による講評等を受けます。

12:10 -

修了式

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



1月28日／木

広報の効果的实践②

自治体広報の課題、広報紙の企画及びデザイン・レイアウト、シティプロモーション、写真撮影、ソーシャルメディアの活用等に関する講義、演習等により、広報の効果的な実践に必要な専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

日 程	令和9年2月1日(月) ～ 2月9日(火)		
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	50人		
受講費	37,500円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年11月4日(水)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php		

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

2月1日/月

13:15 - 14:45 入所 15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 -
課題演習（討議）

1班当たり数人の演習班に分かれ、所定の課題演習テーマ等について、グループ討議を行います。

2月2日/火

9:00 - 12:00
自治体広報の課題と展望（講義）
麗澤大学教授
川上 和久 氏

総論課題として、行政の説明責任の重要性を踏まえ、自治体広報の歴史や意義と課題等を学びます。

13:00 - 16:00
ソーシャルメディア活用法（講義）
(有)ユニバーサルワークス代表取締役
清家 順 氏

X（旧Twitter）、Facebookなどのソーシャルメディア利用の留意点やメリット・デメリットを正しく認識し、効果的な活用方法について学びます。
※スマートフォンを持参する必要があります。

16:15 - 17:45
課題演習（討議）

2月3日/水

9:00 - 17:00
広報紙面改善等による広報力の向上とシティプロモーション（講義・実習）
パブリシंक(株)代表取締役/合同会社
LOCUS BRIDGE共同代表
林 博司 氏

各自治体の広報紙面の改善点を考えること等を通して、自治体の広報力を向上させていく方策について学びます。

17:00 - 17:45
課題演習（討議）

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagain/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

2月4日／木

9:00 - 10:35

課題演習（討議）

10:50 - 12:00

広報担当者が知っておくべき著作権（講義）

弁護士法人リバーシティ法律事務所弁護士
南部 朋子 氏

13:00 - 16:00

プレスリリース作成術（講義・討論・個別相談）

編集記者・広報アドバイザー（元毎日新聞社記者）

山川 健 氏

16:15 - 17:00

事例紹介(レクチャー&フォーラム)～広報動画「ウェルカムピーポーさつま町」の制作について～

鹿児島県さつま町行政改革推進室 行革推進係長

久徳 竜也 氏

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

著作権法の体系に沿った著作権制度の概要を理解し、著作物が自由に使える場合などについて、広報担当者が知っておくべき基礎知識を学びます。

新聞・テレビ・ネットメディア等を通じて事業をPRするパブリシティへの理解を深めるとともに、実践的なプレスリリースの作成について学びます。

住民を巻き込んだ町のプロモーション動画の企画・制作と動画を活用した取組みについて、鹿児島県さつま町の事例を紹介いただきます。

2月5日／金

9:00 - 17:00

広報写真のポイント（講義・実習）

フォトグラファー

大崎 聡 氏

フリーカメラマン

中川 晋弥 氏

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

広報写真の意義等について学ぶとともに、撮影技術の向上を図ります。
※一眼レフカメラを持参する必要があります。

2月8日／月

9:00 - 12:00

伝え方（講義）

文章術講師、コピーライター

前田 めぐる 氏

自治体から発信する情報の効果的な「伝え方」について学びます。

13:00 - 15:35

映画・ドラマを活用したシテンプロモーション（講義）

ロケーションジャパン編集長/ロケツーリズム専門家

山田 実希 氏

映画・ドラマ・CMなどのロケ地となった場合に、その機会を活用して最大限のシテンプロモーションを効果的に行う手法を学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

2月9日／火

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

麗澤大学教授

川上 和久 氏

演習班に分かれ、各自治体が抱える課題等について討議を行った結果を資料にまとめ発表します。その後、質疑応答や講師からの講評を受けます。

12:10 -

修了式

災害に強い地域づくりと 危機管理②～防災と復興

風水害、地震等に備えた地域防災力の強化、災害応急体制の整備、災害図上訓練等に関する講義、演習等により、災害に係る危機管理に必要な専門的知識の習得と災害対応力等の向上を目指します。

日 程	令和9年2月1日(月) ～ 2月9日(火)
場 所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー) 千葉市美浜区浜田1丁目1番地
対 象	中堅職員以上
定 員	70人
受講費	37,500円 ※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。
申込期限	令和8年11月4日(水)
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

2月1日/月

13:15 - 14:45 入所

15:00 - 開講式・オリエンテーション

16:30 - 17:30

課題演習（討議）

演習班に分かれて、災害対策や危機管理に係る課題についてグループ討議を行います。

2月2日/火

9:00 - 10:35

防災行政と市町村の責務（講義）

総務省消防庁国民保護・防災部
総務省自治行政局公務員部

風水害、地震等の自然災害等について概観するとともに、災害等に備えた消防防災体制、市町村が行うべき災害応急対策等について学びます。

10:50 - 14:10

防災力の向上と自治体の危機管理（講義）

跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授
鍵屋 一 氏

高齢化進展・コミュニティの衰退等を踏まえた、個別避難計画や地区防災計画等の新たな地域防災力向上対策を学びます。

14:25 - 17:00

防災教育のための手法 ～災害図上訓練（DIG）のノウハウと実践～（講義・実習）

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部統括研究員

小松 幸夫 氏

災害図上訓練（DIG）を通じて、地域の災害危険性や警戒・初動時の対応、日頃からの備え等の検討を体験しながら、災害に強いコミュニティづくり、防災教育・人材育成の方法について学びます。

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

2月3日／水

9:00 - 14:10

タイムラインと防災（講義・実習）

東京通信大学特任教授/一般社団法人タイムライン防災推進機構機構長・CTO

松尾 一郎 氏

14:25 - 17:00

デジタル技術を活用した災害対策（講義）

国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長

臼田 裕一郎 氏

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

タイムラインの意義、その作成方法、活用方法等について学ぶとともに、タイムラインの作成等についての実習を行います。

防災DXの視点から、デジタル技術を活用した災害対策の取組等について学びます。

2月4日／木

9:00 - 15:35

災害復興法学のすすめ～業務継続・災害救助法活用・被災者支援の法務実務～（講義）

銀座パートナーズ法律事務所弁護士・博士（法学）・気象予報士

岡本 正 氏

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

安全配慮義務の観点からみる業務継続計画のポイント、災害救助法の徹底活用、被災者の生活再建に役立つ法制度知識等について学びます。

2月5日／金

9:00 - 12:00

災害支援物資配給の課題と対策（講義・実習）

国立研究開発法人防災科学技術研究所災害過程研究部門客員研究員

宇田川 真之 氏

13:00 - 14:10

事例紹介①（レクチャー&フォーラム）

岡山県倉敷市企画財政局情報政策室情報政策室主幹

高槻 直樹 氏

自然災害の対応として、経過・教訓、現在の取組状況等について講義いただき、災害対応や防災・減災対策の実務上のポイント等を学びます。

2月8日／月

14:25 - 17:00

過去に学ぶ災害対応と自治体防災（講義・実習）

熊本県初代危機管理防災企画監、防災軍師

有浦 隆 氏

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

災害派遣、熊本県における実対応に基づく経験と教訓をもとに、防災力を維持・向上させ、被害を最小化させていくための自治体における危機管理の在り方について学ぶ。

9:00 - 12:00

事例紹介②（レクチャー&フォーラム）

三重県いなべ市総務部防災課課長補佐

大月 浩靖 氏

自然災害の対応として、経過・教訓、現在の取組状況等について講義いただき、災害対応や防災・減災対策の実務上のポイント等を学びます。

13:00 - 15:35

災害応急体制の整備（講義・実習）

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部審議役

黒田 洋司 氏

災害応急体制の整備において要となる災害対策本部の設置、情報収集等災害対策本部運営上の留意点等について学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

2月9日／火

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

一般財団法人消防防災科学センター研究開発部統括研究員

小松 幸夫 氏

各班の討議結果を全員の前で発表し、質疑応答や意見交換を行います。その後、講師による講評等を行います。

12:10 -

修了式